

2024

2

February
No. 372

広報みしま



三島町消防団出初式

1月6日に町消防団による出初式が行われ火災予防を呼びかけながら宮下地区商店街をパレードしました。パレード終了後は、消防団、会津坂下消防署、会津坂下警察署など関係者の方々に三島神社に参拝し、今年1年の無火災を祈願しました。

福島県
大沼郡
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

「じょうずにできた だんごさし！」（小正月行事）

1月12日に三島保育所で、園児と三島小1・2年生が合同で小正月行事のだんごさしを行いました。団子が茹で上がると一斉に丸め始め、まんまるくなった団子を「じょうずにできた！」と周りのお友達に自慢する微笑ましい様子も見られました。

1年の健康を祈りながら、3本の大きなミズノキに自分たちで丸めた団子と飾りをたくさん差し、色とりどりのきれいな正月飾りができあがりました。

「三島小・中学生が英語駆使し 異文化理解！」 ～天栄のブリティッシュ・ヒルズで英語体験研修～

三島小5・6年生と三島中1・2年生合わせて約20人は、英語教育・異文化体験研修事業として、天栄村のブリティッシュ・ヒルズを訪れて研修しました。

このほど、町教育委員会の主催で初めて実施し、児童・生徒は同施設の英国人から英語のレッスンを受け、生の英語に触れるのと同時に英国文化にも理解を深めました。学校で学んだ英語を積極的に活用してコミュニケーションを成功させた子どもたちは、「来年度もまた来たい」と笑顔を見せていました。



▲だんごさしをした園児と三島小1・2年生



▲英語のレッスンを受ける三島中1・2年生

「第51回雪と火のまつり」へのご寄附、ご協力に感謝いたします。

2月17日④に実施される「第51回雪と火のまつり」には、今年も町内外の事業所様から多大なるご寄附をいただきましたことに感謝申し上げます。また、開催にあたっては、町内建設業の方々による会場整備、「サイの神」ほか伝統行事再現では三島小・中学生の皆様と多くの町民の方のご協力をいただき開催いたします。町民の皆様のご来場をお待ちしております。

滝谷建設工業株式会社「花火大会へのご寄附」

1月22日に滝谷建設工業(株)田中智仁代表取締役社長と板橋康宏取締役営業部長が町長室を訪れ、「第51回雪と火のまつり」花火大会のためにと、雪と火のまつり実行委員会と町へ多額の寄附をいただきました。花火は午後6時頃打ち上げ予定です。



▲左より矢澤町長、雪と火のまつり実行委員会 菅家三吉会長、滝谷建設工業(株)田中智仁代表取締役社長、板橋康宏取締役営業部長

「令和6年能登半島地震」義援金の寄附

佐久間建設工業株式会社

1月23日に佐久間建設工業(株)佐藤岩男代表取締役社長と佐久間源一郎代表取締役会長が町長室を訪れ、今回の地震で被災された方々を支援するために、日本赤十字社福島県支部三島町分区長である矢澤町長へ義援金の寄附をいただきました。

町は日本赤十字社福島県支部三島町分区として日本赤十字社福島支部へ「令和6年能登半島地震災害義援金」を送りました。この災害義援金は、被災地に設置される災害義援金分配委員会を通じて被災者へ全額分配されます。



▲左より矢澤町長、佐久間建設工業(株)佐藤岩男代表取締役社長、佐久間源一郎代表取締役会長

炎に「幸福」 祈る 三島のサイノカミ (国指定重要無形民俗文化財)

滝谷地区

無病息災

1月14・15日に国指定重要無形民俗文化財に指定されている、三島町の代表的な小正月行事「サイノカミ」が今年は町内19ヶ所で行われました。地区によってサイノカミ立ての技法や執り行い方は異なりますが、「サイノカミ」への祈りは同じです。

家内安全

五穀豊穰

疫病退散

宮下地区



サイの神（1月13・15日）

小島 純さん（宮下）

13日の午前9時から地区住民と小学生が集合し、それぞれ御神木と竹の切り出し、燃え草集めに分かれて作業を行いました。

御神木を建てる作業では、今年は若い人たちの参加が多く、その力で例年よりかなり早くサイの神を立てることができました。

宮下地区の「サイの神」は、1月15日に行われました。午後6時30分、年男の方が三島神社より御神火をろうそくに移し、神社境内の「サイの神」に点火、火は静かに燃え上がりました。

会場では、御神酒、みかんなどがふるまわれました。参加した住民は棒の先に付けられた餅やスルメを焼き、それらを楽しみながら勢いよく燃え上がる炎を見上げ、今年1年の無病息災、平穏無事を願いながら地区の誇りを楽しんでいました。



神火に願いを込めて「無病息災」「五穀豊穰」を祈る（1月14日）

本名 与四郎さん（西方）

1月14日の午前9時より巢郷地区において「サイの神」の準備が行われました。今年は、昨年から積雪量がなく、かんじきを履かなくても、支障がない状態でした。

御神木を切る際には、全員で二礼二拍手一礼を行い、御神酒を捧げて厳かに切り出しました。その後、五十嵐正一さんや小松正信さんの指示を受けながら稲藁や長く伸びた萱などを御神木に手際よく巻き付けながら、サイの神の準備をすることができました。最近では、コンバインで稲刈りをするため稲藁を確保することが困難になっています。巢郷の稲作農家においては、事前に稲藁を残すような配慮がなされており、他地区へ波及して欲しいと思いました。

夕方、5時近くになると、各家々から老若男女が餅焼き竿に年末についた餅を針金などで固定して集まる姿が見られました。点火の前に隣組長の五ノ井隆一さんから挨拶があり、その後、今年の恵方の方角は東北東のため、その方位から点火し、今年1年の無病息災と五穀豊穰を祈願しました。



「隣組 無くしてたまるか サイノ神」
「神火に 豊穰願い 幸祈る」

鳥追い（1月14日）

阿部 和彦さん（桧原）

地区の伝統行事「鳥追い」が行われました。午後7時、地区の子供たちと他の地区から応援に駆けつけてくれた児童生徒約15人が集会所に集まり、区長のあいさつの後、出発しました。「今日はこの鳥追いだあ～、長者様の鳥追いだ。ホヤー・ホヤー」三島小学校の児童の皆さんのご協力で作られた旗を振り、害鳥を追い払い、今年の豊作を願う行事です。終了後は参加してくれた子供たち全員にお礼のお菓子が配られました。

地区内の子供の数が減り、他の地区から応援を借りながら、小正月の伝統行事を受け継いでいます。



1年の幸せと安寧を願った新年会（1月1日）

本名 与四郎さん（西方）

1月1日の午前10時より西方ふれあいセンターにおいて「西方地区新年会」が行われました。地区役員の小柴茂さんによる開式の言葉の後、国歌斉唱に参加された全員で行いました。その後、区長の五ノ井隆一さんより昨年の酷暑、台風など日本の各地域で大きな被害をもたらしたものの、西方地区では最小限の被害で留まったことや感染症への継続的な警戒の話がありました。また、今後の地区としての課題である高齢化と人口減少など解決策を模索しながら地区の皆様と共有し邁進する挨拶がありました。

年頭所感として青木喜章議員による西方地区を含めた三島町全体の今後を見据えたビジョンと抱負についての挨拶がありました。また、西隆寺の先代住職の後継者となった遠藤孝弘和尚さんが夫婦同伴で参加され、挨拶をいただきました。

地区財産管理の坂内洋二さんによる声高らかな乾杯で祝宴に入りました。今年の新年会は、四年ぶりの開催でしたが、大勢の参加者が集い、和やかにそして、賑やかな新年会となりました。

最後に、三島町副町長の小堀庄太郎さんが今年の干支の「辰」に関連させながらのお話を交えながら万歳三唱を行いました。今年1年の幸せと安寧を願った新年会は午前中で閉会となりました。



「新年を 気持ち新たに 顔合わせ」
「四年ぶり みんな達者で 新年会 五穀豊穰 健康願う」

大山祇神社初詣と新年会（1月1日）

橋本 光五郎さん（早戸）

早戸地区では例年通り、元旦の10時から氏子一同で大山祇神社に初詣を行い、地区とそれぞれの家庭の今年1年間の安全を祈念しました。その後、場所を早戸生活改善センターに移し、地区の新年会を開催しました。

今年は神社総代長の佐久間定雄氏が風邪気味ということで、初詣及び新年会を欠席されたので、新年会では五十嵐登美雄区長の挨拶の後、総代長に代わり五十嵐信一総代の乾杯の音頭で新年を祝いました。



令和6年 新年会（1月1日）

小島 純さん（宮下）

1月1日午前10時から「令和6年宮下地区新年会」が活性化センターにおいて開催されました。

志田義美区長の新年の挨拶、来賓祝辞の後、祝宴に移り、全員で乾杯し参加した地区住民は、和やかに歓談、今年1年のお互いの健康地区の安全発展と飛躍を願っていました。



令和6年 三島神社初詣（1月1日）

小島 純さん（宮下）

午前0時、社殿からの打ち出し太鼓を合図に、地区住民が三島神社に初詣に訪れました。例年にはなく積雪も少なく穏やかな新年を迎え、参拝する方々は今年1年の無事や願い事などを熱心に祈っていました。



戸籍証明書等の広域交付について

令和6（2024）年3月1日から、本籍地以外の市区町村の窓口でも、戸籍全部事項証明書等の請求、受け取りができるようになります。これにより、三島町に本籍がない方でも、三島町の町民課窓口で戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）等を請求することができます。（請求できるご本人が直接窓口にお越しになった場合のみ）

広域交付ができるようになる書類

- ・戸籍全部事項証明書（戸籍謄本）
- ・除籍全部事項証明書（除籍謄本）



請求が可能な方

- ・本人・配偶者
- ・直系尊属（父母・祖父母等）
- ・直系卑属（子・孫等）

※ 以上の方が載っていない戸籍（きょうだいの戸籍や配偶者の父母の戸籍等）は請求することができません。
亡くなった方の戸籍について、生存配偶者の方が窓口で請求する場合、当町以外が本籍地である戸籍の広域交付はできません。

注意事項

- ・請求できる方が直接窓口にお越しください。代理人や郵送での請求はできません。
- ・請求に際して、本人確認書類として顔写真付きの身分証明書（マイナンバーカード、運転免許証、パスポート等）をご持参ください。顔写真の付いていない本人確認書類（保険証等）では証明書等の発行はできません。
- ・コンピュータ化されていない戸籍の証明書は請求できません。
- ・一部事項証明、個人事項証明（戸籍抄本）は請求できません。
- ・戸籍の附票、身分証明書、独身証明書は対象外です。従前のとおり本籍地のある市区町村へ請求してください。

手数料

種類	金額
戸籍証明書 [戸籍全部事項証明書 (戸籍謄本)]	450 円
除籍証明書 [除籍全部事項証明書 (除籍謄本)]	750 円



町民課町民係 ☎ 0241-48-5555

サイノカミ（1月15日）

阿部 和彦さん（桧原）

今年も桧原地区では春日神社境内前の広場で行われました。例年に比べると少ない積雪の中での開催となりました。当日は雪の中、春日神社裏の林より初老を迎える方から提供された御神木となる杉の木を切り出し、参加者が協力し合い約10mの立派なサイノカミが完成しました。

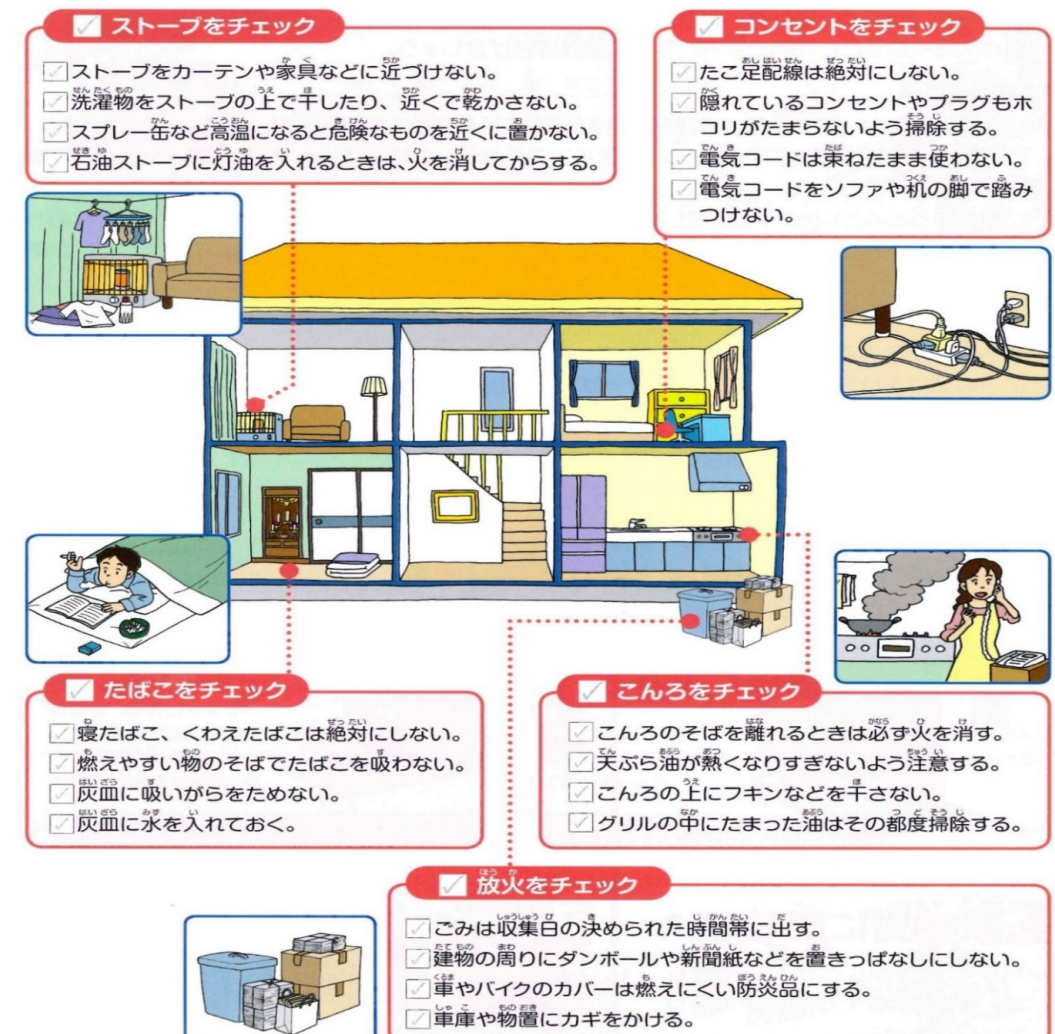


午後7時に区長・消防班長・歳祝いの方々が点火し、オンベに火が付いた時には大きな歓声が上がりました。御神酒やスルメが振る舞われ、今年一年の無病息災と五穀豊穡を祈りながら、更に伝統を守り続ける地区の団結を誓いました。

消防署からのお知らせ

火を消して 不安を消して つなぐ未来 ～令和6年 春季全国火災予防運動～

家庭にひそむ火災の原因を家族で話し合い火災の予防に努めましょう。



会津坂下消防署三島出張所 ☎ 0241-48-3032

★新年度の登録申込みについて★

令和6年度新1年生になられるお子さんは、**令和6年4月1日から**、「ゆめぼけっとクラブ」の利用が可能になります。2月上旬に「ゆめぼけっとクラブ登録利用申込みの案内」を各家庭にお配りしますので、利用を希望される方は申請書にご記入の上、2月29日㊦までに教育委員会へお申込みください。提出された申請書を審査し、保護者に入会決定通知書を送付いたします。前年度利用されていた方も、**年度ごとの登録が必要となります。**その他不明な点ございましたら、教育委員会までお問い合わせください。

★ゆめぼけっとクラブに登録していない児童も放課後や長期休業中に、町民センターを利用することができますが、次のことを守っていただけますようお願いいたします。

- ・ 利用する際は、教育委員会の事務室に声を掛けていただくこと。
- ・ 使った道具や物は、元の場所に戻してから帰ること。
- ・ 帰る際にも事務室に声を掛けてから帰ること。



★図書コーナーの利用について★

放課後児童クラブの主な活動場所が「ゆめぼけっと」ということもあり、本を選んだりする際などで不便をおかけしますが、ご理解願います。また、1階には図書コーナー、2階には図書室もありますので、読書や勉強をする際はどうぞご利用ください。なお、図書に関することは三島町公民館（教育委員会）までお問い合わせください。新刊書を豊富に取り揃えておりますので、ぜひご覧ください。

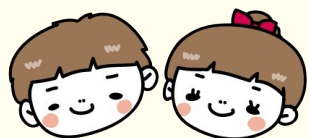
1階町民センター入口ホール
図書コーナー



2階町民センター
図書室



※ ゆめぼけっとクラブで働く支援員及び補助員を随時募集しています。詳細については教育委員会までお問い合わせください。



お問合せ先
教育委員会 ☎（48）5599

放課後児童クラブ 「ゆめぼけっとクラブ」について

1 「ゆめぼけっとクラブ」（放課後児童クラブ）とは？

三島町では放課後対策事業として、核家族や保護者の共働き家庭の増加などにより、放課後に子どもだけで過ごす家庭が多くなるなか、安全に過ごす事ができる居場所をつくり、健やかな成長を見守ることを目的として「ゆめぼけっとクラブ（放課後児童クラブ）」を開設しております。子育てしやすい環境づくりと地域の方の見守りのもと、情緒豊かな子どもの育成支援を目指しています。

2 対象児童は？

両親、家族が共働き等で家庭が留守になる三島小児童1年生から6年生までの登録児童。
利用には事前登録が必要で、登録されていない児童の急な利用はできません。

3 保護者負担は？

教材費・おやつ代込みで1回の利用あたり100円
傷害保険料（1人あたり年間800円）

4 実施場所は？

町民センター 1階ゆめぼけっと及び大ホール、保育所所庭など
（町民センターには教育委員会の事務室があります。）

5 開所日は？

月曜日から金曜日 ただし、祝日とお盆、年末年始は除きます。（毎年、変動します）

6 開所時間は？

下校時刻・長期休業中	開所時間
通常（16：00）下校	16：00～18：00
早帰り（14：30）下校	14：30～18：00
春・夏・冬休みの長期休業中	8：00～18：00

7 子どもの様子を見ている人は？

放課後児童支援員（有資格者）含む8名のスタッフが、シフト制で子どもたちを見守っています。

8 活動内容は？

自主学習、室内遊び、外遊び、体験活動、工作、調理、スポーツ等





生活習慣病や
ガンの予防

からだをつくる
胎児を育てる

血管の傷みを修理する
血管の老化を防ぐ

血糖やコレステ
ロールの値を
下げる

野菜100g あたり	ビタミンA	葉酸	ビタミンC	食物繊維
基準量 (40g生野菜相当)	男 900μg 女 700μg	240μg	100mg	20g以上 18g以上
にんじん(1/2本)	680	23	4	2.7
本葱(1/2本)	380	190	19	3.2
ほうれん草(1/2束)	350	210	35	2.8
かぼちゃ(1/8個)	330	42	43	3.5
ニラ(1袋)	290	100	19	2.7
ブロッコリー(1/3個)	67	210	120	4.4
いんげん(約10本)	49	50	8	2.4
セロリ(1本)	4	29	7	1.5
カリフラワー	2	94	81	2.9
白ネギ(1本)	1	56	11	2.2
大根(1cm輪切り)	0	33	11	1.3
たばねき(1/2個)	0	16	8	1.6
もやし(1/2袋)	0	42	11	1.4
もずく	18	2	0	2.0
青汁(1日分13gあたり)	63	12	2	1.2
野菜ジュース(1杯分)	1800	75	185	4.1

緑黄色野菜

淡色野菜

野菜を食べた方がいい っていうけど、なんで？

私たちのからだはたくさんの細胞が集まってできており、常に作り替わっています。また、私たちは呼吸をしますが、呼吸で取り込んだ酸素の2～3%は、体内で「活性酸素(サビ)」に変わります。「活性酸素(サビ)」は細胞膜を酸化(老化)させ、血管を固くしたり炎症を起こしたり、シミやシワの原因となったりします。

野菜には「抗酸化物質」が含まれており、私たちの体内でできる「活性酸素(サビ)」を消去し、細胞膜を守ってくれる作用があります。特に緑黄色野菜には細胞を修復し、細胞の酸化(老化)を防いでくれるビタミンAや葉酸が豊富に含まれているので、生活習慣病やガンの予防にとっても重要です。

1日当たりの成人の野菜類平均摂取量(厚労省調査)は、平均 280 グラム程度であり、摂取目標量(350 グラム)を大きく下回っています。特に栄養価の高い旬の野菜をもっと食べて毎日を元気に過ごしましょう。



図書のご案内

町民センターゆめぼけっと

- 利用時間
月～金 午前9時～午後9時
土・日・祝 午前9時～午後5時
- お休み
年末年始
- 公民館 ☎ (48) 5599

●今月のおすすめ

続 窓ぎわのトットちゃん

黒柳 徹子 著

世界中で愛されている、あの“トットちゃん”がその後、どのように大人になっていったかを読むことができる、笑いあり、涙ありの、トットちゃんの青春記です。

物語は、トットが青森に疎開してから、音楽学校を卒業して NHK の専属女優になり、ニューヨークに留学するまでの日々が続かれています。



●図書の紹介

馬淵睦夫が読み解く
2024 年世界の真実

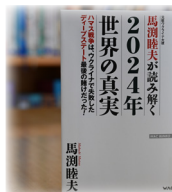
馬淵 睦夫 著

まいにち
知育クイズ 366

高濱 正伸 著

可燃物

米澤 穂信 著



町史編さん室だより

第97回

『郷土誌』

にまとめられた

正月の年中行事

戦前に宮下小学校が作成した『郷土誌』には多くの年中行事がまとめられています。当時どのような行事がどのように行われていたのか、その一例を知る貴重な文献ですので、今回から数回にわたり紹介していきます。

〈正月〉(一月)

若水汲 この元旦の朝早く起き出でて若水を汲みて湯にして或は茶を飲むなり此の若水を汲む時は「何を汲む水汲む黄金の柄杓で長者の水を汲む」と唱へつつ汲む産土神参拝 元旦早く若水を沸したる湯に茶を飲み沐浴して羽織袴を着け産土神に参拝す此時仏寺にも参詣す
屠蘇酒 家族及び来客に屠蘇酒をすすむ家あり但し此事松の内のみ年始回礼 元旦より始め行ふ蕎麦 一日の夕は蕎麦を食ふト口口飯 三日のト口口は称してト口口飯を食ふを例とす
仕事初 二日には事初めと称し売店は鶏鳴に戸を開けて売り始む。一番早く来たものには最も多く

の景物を呈す習慣あり職人は仕事を夫々初む
不成日 正月三日を云ふ此の不成日は毎月ありて中略此の不成日は昔由井正雪の謀反を企てんとせしとき徒党の者と談合するに撰びたる日なりと然るに正雪事成就せざりし故不就日と唱へて来たり事を初めざる風あり
節入り 他に嫁したる男女は正月の五日前後に実家に赴きて実父母を見舞ふを節入りといふ此の時餅一重を持参して進むなりこの節入は婚嫁後の数年間同夫婦同道す
七草 正月七日に七草の男女ある家にては七草の祝をなす然れ共今は唯宮詣りをなし友達を招き馳走する
鳥追 十四日の夜及び十五日の早朝に鳥追ひをなすこれは己の田畑其の他の害をなす雀鳥等を追ふ真似を子供がなす
(別記) 夜に入りて子供集り一所に雪をおしかため広く雪穴を掘りて其の内に群り団子餅粥を作

り食し夜更けまで田畑に付く鳥を追ふて其のはやし歌つて追
「今日誰の鳥追だ長者様の鳥追だ雀すはどり五上れほうほう朝鳥夕鳥佐渡ヶ島へほうほう」
団子挿 農家の行事を象りたる遊戲にしてみづの木といふ木を伐り十五日の朝これに米の粉にて団子包金農具類農産物等の形を作りたるものを挿す
災の神 十五日の晩に災の神と云ふを焼く此の日子供及若者等皆出でて枝の儘の木を立て村中より集めた門松藁又は納豆のつとめ縄などで纏ひて災の神を立てて夜に入れば村中より出て焼くこの火にて焼きたる餅を食するときは病厄等を免れこの火にて煙草を喫するときは齟齬を病まざと云ふ
愛宕詣 正月の二十四日愛宕山に参詣す
年重祝 期日は一定せざれども正月中に祝ふ男子は二十五才、四十二才、六十一才、七十七才、八十八才、等の年に親戚朋友近隣の者を招き振舞をなし神官に



▲桑原地区「若水汲み」(撮影昭和 60 年頃)

ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。
☎(52)2165

(町史編さん室)
※(別記)は『郷土誌』の別項目に記述されたもの。旧字を常用漢字に、カタカナをひらがなに改め、難読字にはルビを振っています。

地域おこし協力隊

活動誌

協力隊を通じた移住・定住

山本 敬晴

協力隊としての任期も残り2ヶ月。任期後は引き続き三島町での定住を考えています。そこで、最後に協力隊を通しての移住・定住について少し語りたいと思います。

私が移住への想いを募らせたのが約4年前。仕事の区切とコロナ禍が相まって、「山間の静かなところで自然と共生した暮らしをしたい。せつかくならなく違う環境、雪国のようなところも面白いのかも。」という気持ちから東北以北を中心に移住先を検討することにしました。ただ、縁もゆかりもない遠方の地では仕事と住まい探しがい。その様なことから地域おこし協力隊制度に着目し、全国の募集状況を探っていたところに興味のある協力隊業務（再エネによる地域循環）と住みたい

地域のイメージがピッタリはまったことから三島町への移住を決断しました。

その後、着任して木質バイオマス等による町の森林資源活用や地球温暖化対策の検討を中心に活動が続けておりますが、実のところ興味本位で移住したところも強く、やりたいことは幾つか頭の中にあつたものの、近まで任期後の仕事や定住等の将来ビジョンを明確に定めていませんでした。

それでも業務や地域の行事、消防やNPOの活動などを通して、地域の皆さまとの関わり合いの中で「この町に定住したい。」との想いが強くなり、幸いにも仕事のご縁もあつたことで、任期後は定住に向けて話を進めることができました。協力隊制度は全てが上手くいくものでもないですが、この3年間でいろんな方々と関わり、いろんなことを学び、充実した日々を過ごすことができましたので、私自身は三島町の協力隊になれて良かったと思っています。

地域循環コラム 第20回

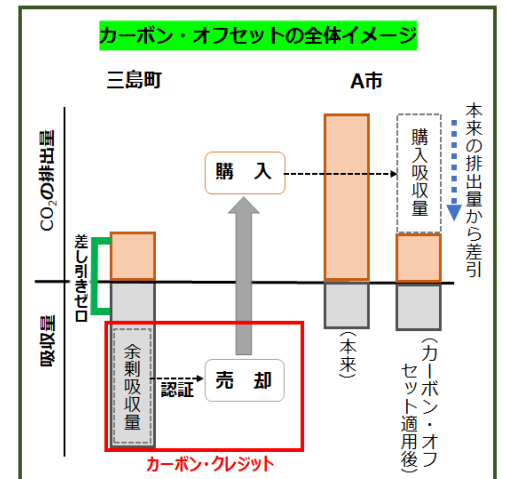
～市場拡大！？カーボン・クレジットの動向～

三島町では、令和4年5月に『三島町ゼロカーボンビジョン』を策定していますが、このビジョンでは、町の2050年までの二酸化炭素（CO₂）排出量を森林等による二酸化炭素（CO₂）吸収量が大きく上回り、実質ゼロのさらにその先のカーボンマイナスとなるような目標を掲げています。このカーボンマイナスに取り組む一つの利点として、カーボン・クレジット制度によるCO₂排出量取引にて余剰分のCO₂排出削減・吸収量を売ること、他地域の脱炭素化への寄与と地域経済に貢献できます。今回はそのカーボン・クレジット制度について現在の動向を踏まえてお話ししたいと思います。

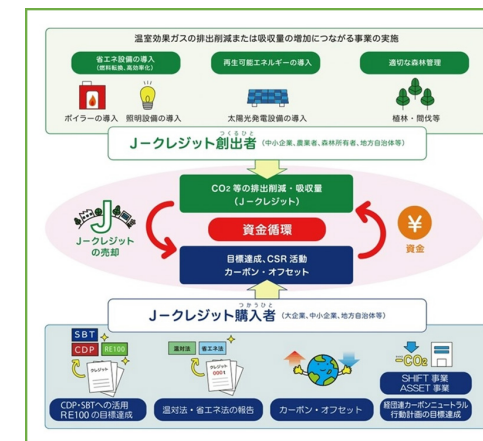
1 カーボン・オフセットとカーボン・クレジットの考え

企業や自治体等におけるCO₂排出量の削減を求められる中、省エネ対策や再生可能エネルギーの導入を実施しても状況によっては排出量の削減が困難な部分があります。そのため、他の場所で実現したCO₂排出削減又は吸収量等を購入し、自身の排出量の全部または一部を埋め合わせることが認められています。この仕組みを『カーボン・オフセット』といい、CO₂排出削減や吸収量等の認証、又はその売買まで含めた制度のことを『カーボン・クレジット』といわれています。

三島町では、森林を適切に管理していくことで、CO₂の吸収量が排出量が上回るが見込まれます。町で必要とする以上の吸収量を生み出し、当制度を積極的に活用していくことで、他地域の脱炭素化と町内の経済活性化に貢献できると考えます。



2 代表するカーボン・クレジット制



（出典）経済産業省「J-クレジット制度」

現在、欧米を中心に国際的に市場拡大が続いているカーボン・クレジット制度ですが、日本国内では政府が主導する『J-クレジット』が最も普及しており、省エネ設備や再生可能エネルギーの導入によるCO₂排出削減量と適切な森林管理によるCO₂吸収量の取引が可能となっています。1トン当りの取引単価（2024年1月時点）は、排出削減・吸収の起源によって異なり、省エネ等での排出削減系クレジットでは約2,000円、森林管理による吸収系クレジットが約6,000円となっており、単価も上昇傾向にあります。その他にも東京都や埼玉県などでは、地方自治体による独自の制度を設けている等、国内でのカーボン・クレジットの利用が増加している状況です。

3 拡大するカーボン・クレジット市場

また、昨年10月11日には「東京証券取引所」にてカーボン・クレジット市場（売買対象は『J-クレジット』）が正式に開設され、流通の場が増えたことや売買契約等の手続きが簡素化されたことにより、市場も更なる賑わいを見せています。

現状の課題に合わせて制度の見直し等の取組も進められており、今後の普及に合わせて「三島町でもカーボン・クレジット制度の活用を検討する必要があるのでは！？」と考えています。

【 地域おこし協力隊 山本敬晴 】

冬のものづくり教室 開催中

- そして、工芸品展へご出品ください -



山ブドウ細工教室

冬はものづくりの季節ですね。生活工芸館では1月13日⑤より「冬のものづくり教室」を実施しています。教室では春から開講しているヒロコ細工に加え、冬限定の山ブドウ細工やマタタビ細工の教室を実施しています。遠く京都からの受講者もあり、習うだけでなく、情報交換を行うのも楽しみの一つかと思ひます。ご興味がある方は、見学も可能ですので、ぜひ一度ご来館ください。なお、今年はヒロコ細工とマタタビ細工の教室が隔週ごとの開催となっております。工芸館ホームページやお電話等で各教室の開催日程をご覧ください。

「冬のものづくり教室」毎週⑤・⑥ 9:00～16:00 2月18日⑥まで。 ※ 事前予約必要

あわせて、3月16日⑤・17日⑥には、三島町生活工芸品展および、全国編み組工芸品展が開催されます。2月22日⑥までの募集となっております。たくさんのご応募お待ちしております。



開講式様子（工人の館にて）



ヒロコ教室様子



生活工芸館ホームページ
「冬のものづくり教室」

☎ 三島町生活工芸館 ☎ (48) 5502

工芸館だより ③③ ものづくりの伝承

町からお知らせ

ご寄附ありがとうございました（12月分）

ふるさと納税

鈴木智之様（埼玉県）
長谷川加代子様（千葉県）
二瓶文隆様（東京都）
川久保美紀子様（東京都）
飯塚孝様（福島県）
柴田克哉様（茨城県）
佐藤保様（埼玉県）
川口直人様（東京都）
猪俣博之様（宮城県）

寄附件数 95 件 計 2,120,000 円

2月分納税のご案内

【納期限 2月29日（木）】

- ▼ 町県民税（普通徴収）（随期）
 - ▼ 固定資産税（普通徴収）（第4期）
 - ▼ 国民健康保険税（第6期）
 - ▼ 介護保険料（普通徴収）（第6期）
 - ▼ 後期高齢者保険料（普通徴収）（第7期）
- 忘れずに納付してください。

☎ 町民課 町民係 ☎（48）5555



お悔み申し上げます

五十嵐テル子様（67才・大石田）

町の人口と世帯（1月1日現在）

人口	1,380	増減数	0	出生	0
男	697		-1	死亡	2
女	683		2	転入	3
世帯	688		1	転出	0

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

社会福祉協議会より

大石田友遊サロン

2月5日（月）
午前10時から
大石田集会所

桧原はつつクラブ

2月6日（火）
午前10時から
桧原集会所

浅岐あったかサロン

2月9日（金）
午前10時から
浅岐集会所

高清水・小山
いきいきサロン

2月9日（金）
午前10時から
高清水集会所

サロンなごみ

2月15日（木）
午前10時から
西方ふるさとセンター

川井友愛サロン

2月16日（金）
午前10時から
川井集会所

間方いきいきクラブ

2月19日（月）
午前10時から
間方集会所

滝谷和楽塾

2月20日（火）
午前10時から
滝谷集会所

ほがらかサロン

2月25日（日）
午前10時から
森の校舎カタクリ

サロンないり

2月26日（月）
午前10時から
名入集会所

◆心配ごと相談会◆

2月15日（木） 福寿草

午前9時30分から午前11時30分まで

町社会福祉協議会へのご寄附
（ご遺志によるもの）

五十嵐保正様（大石田）

☎ 社会福祉協議会 ☎（52）3344

愛ばんしょ外来からのお知らせ

三島町ケーブルテレビ「三島通信」では、健康教室を放送中です。2月は「足がつる」の特集です。ぜひご覧ください。

愛ばんしょ外来は、地域の皆様が健康で安心した生活が送れるようなお手伝いをしております。健康教室のDVDの貸し出しや、病気や介護・通院に関する相談も受け付けております。お気軽にお問合せください。

☎ 福島県立宮下病院 ☎（52）2321



会津坂下警察署からのお知らせ

〈自転車泥棒発生中！！〉

新年度を迎えると初めての自転車通学になるお子さんも多いと思います。

会津坂下警察署管内でも自転車の盗難が発生していることから、それを防ぐために自転車に2つの鍵を掛けるツーロックを心がけましょう！

また、自転車を盗む行為は窃盗罪です。「みんなやってるから…」など軽い気持ちで犯罪行為に手を染めないようにしましょう。

〈顔が見えない相手を信頼できますか？〉

「X」や「Instagram」、「Facebook」などのSNSやオンラインゲームで世界中の誰とでも知り合うことができるようになりました。

あなたに優しい言葉をかけたり、悩みを聞いてくれる人もいるかもしれませんが、しかし、ネット上で知り合った相手は顔が見えず、プロフィールとは性別や年齢が違う可能性があり、中にはお金やあなたの裸の画像が目的で近づく人もいます。

また、「家出するなら泊めてあげるよ」などと声をかけられ、相手の家に行ったらわいせつな写真を撮られたり、監禁されて性被害を受けることもあります。特に、画像についてはネット上に公開されたものを完全に削除することは不可能です。もし、そういった要求をされたら1人で悩まずに家族や警察に相談しましょう。

☎ 会津坂下警察署警務係 ☎ 0242（83）3451

多重債務・貸金業に関する相談窓口

財務省東北財務局福島財務事務所では次のような相談を受け付けています。秘密厳守、相談無料です。

一人で悩まずお気軽にご相談ください。

- ・返済しきれない借金に関する事
- ・貸金業者や、いわゆる「ヤミ金融」業者に関する情報
- ・不正に利用されている預貯金口座に関する事

【相談窓口】 財務省東北財務局福島財務事務所 理財課
福島市花園町 5-46

福島第二地方合同庁舎5階

【受付時間】 ⑨～⑫（祝日、年末年始除く）

8：30～12：00、13：00～16：30

【電話】 024-533-0064（多重債務者相談窓口専用）

☎ 財務省東北財務局福島財務事務所 理財課

☎ 024-535-0303

県立宮下病院 栄養士からのお知らせ

県立宮下病院 管理栄養士 小野知恵

『節度ある適度な飲酒を！！』

楽しくお酒を飲んで、ストレス解消になっている方も多いと思いますが、適正な飲酒量やお酒を飲むときのポイントを紹介します。

① 食事と一緒にゆっくり楽しみましょう！

空腹で飲まないで魚や肉、卵、大豆製品などのたんぱく質が多い食品と野菜や海藻、きのこ類などを組み合わせるとよいですね。

② 適量を守り、休肝日を！

1日の適量は、「純アルコールで20g」とされており、下記の目安量参考に飲み過ぎに注意、そして、働き続けている肝臓のために休肝日を作りましょう。

純アルコール20gを含むお酒の量

ビール	500ml
日本酒	180ml（1合）
チューハイ （アルコール度数7%程度）	350ml
焼酎	100ml

長年お酒を飲んでいる人も肥満や健診の数値が気になる人も、お酒の付き合い方を見直してみませんか。

☎ 福島県立宮下病院 ☎（52）2321

県立テクノアカデミー会津

個別進路相談会のお知らせ

【日時】 令和6年2月25日（日）9：30～12：00

【場所】 県立テクノアカデミー会津
（喜多方市塩川御殿場4丁目16番地）

【対象者】 高校生（学年問わず）と保護者
会津地域で就職を考える若年者の方

入学をお考えの方や、会津地域で就職を希望される方を対象に、個別進路相談会を開催します。

事前申請は不要ですので、気軽にご参加ください。なお、詳細はホームページ（<https://www.tc-aizu.ac.jp>）に掲載しています。



☎ 県立テクノアカデミー会津 ☎ 0241（27）3221

同日開催！ 令和6年3月16日(土) 17日(日)

第43回三島町生活工芸品展

場 所／三島町生活工芸館

**開催時間／ 16日(土) 9:30～16:00
17日(日) 9:00～15:00**



三島町の工芸品の原点である「生活工芸」。

雪国の暮らしの中で作られ、使われてきた工芸品がここにあります。

編み組品をはじめ、木工品や染織等、三島町在住の工人の手作りの品が集まります。

問三島町生活工芸館 ☎ 0241 (48) 5502

第23回全国編み組工芸品展

場 所／三島町交流センター山びこ

**開催時間／ 16日(土) 9:30～16:00
(8:30より表彰式開催)
17日(日) 9:00～15:00**



編み組細工展示販売、奥会津編み組細工実演コーナー 等

問奥会津三島編組品振興協議会 (三島町生活工芸館) ☎ 0241 (48) 5502

町長日記 「動揺する地域の羅針盤」

No. 96

時間がある時などは、若松の本屋でさまざまな雑誌などを覗き込むことが、私の至福の時です。

この本を読みたいと目的を持っていく場合もありますが、ストレス発散のために行くのが私の目的でもあります。目的無しに書店を訪問した際に、面白い本と出会う時の方が充実感があります。

仕事ながら、東京永田町に行く機会が多く、日程に余裕が生まれた時には、山手線の有楽町の駅前にある日本を代表する書店で時間をつぶすのがこの上ない幸せです。

永田町での出張用務の帰りは、電車の時間まで東京駅内の喫茶店でコーヒーを飲みながら、構内の雑踏の中、書店で購入した本を読むことが、なぜか心が落ち着く私の風景です。三島町から大都会東京をまた東京から三島町を眺めてみると三島町や日本そして世界の姿が見えること

があります。

コロナ感染症の収束後、世界や日本の政治や経済が激しく動揺しているのを感じ取ることができます。コロナ下の約4年間、百年に一度のパンデミックによって多くの人命が失われ、経済や社会が被害を受け、世界の歴史に残る大きな節目であったと思われまふ。

少子高齢化や人口減少社会、そして戦争の拡大や社会の分断は、「成長を追い求める社会」の産物ではないのかと考えます。

山村と都市、日本と世界各国が共生しながら、まさに「持続可能」(サステナブル)な社会を創ることが今求められています。「成長」という価値から「幸福」(ウェルビーイング)という価値を求め、共生する町づくりを皆様方の叡智を結集して創ってきたいと考えております。

三島町長 矢澤 源成